

日立のCSR施策「SDGs協創ワークショップ」 その詳細なレポートを、Webマガジンでお読みいただけます

日立×信州塩尻、協創の3日間

SDGs No.11 “住み続けられるまちづくりを”をテーマに、イノベーションマインドを醸成したい。そんな思いから、日立製作所の情報通信事業を担うシステム&サービスビジネス (SSB) は、社員に向けたCSR施策「SDGs協創ワークショップ」を今年7月、長野県塩尻市を舞台に実施しました。塩尻市が抱える社会課題の解決に向け、現場の人々との協創に取り組んだ3日間。その内容は、日立のWebマガジン「Executive Foresight Online」でお読みいただけます。

■【1日目】社会課題に向き合う思考法を学ぶ

NPO法人ミラツクの西村 勇哉氏が「社会課題に向き合う際の視点や思考法」をレクチャーしたほか、長野県塩尻市の職員・山田 崇氏が地域の課題を紹介。「自分が社会に対して何がしたいか」を掘り下げるワークに社員たちが取り組みました。



■【2日目】社会課題の現場をフィールドワークする

社員たちが塩尻市を訪れ、①子ども・教育、②山・森、③高齢者・障がい者雇用、④空き家・空間、⑤文化・伝統産業の継承の5分野の課題に分かれてフィールドワークを実施。本レポートでは、課題⑤に密着しました。



■【3日目】「新しい文脈」を見つける

社員が思い描く「望ましい未来社会」の実現に向けたシナリオを作成。塩尻市の課題解決に向けたアイデアを考案し、一人ひとりがプレゼンテーションしました。



■【番外編】塩尻市職員からの熱きフィードバック ～社会課題の現場の声～

最終日から約1か月後、山田氏が、社員のアイデアへのフィードバックを実施。さらに、選抜した4つのアイデアを社員たちがブラッシュアップしました。



詳しくは「日立 信州塩尻」で検索してください。

日立 信州塩尻

検索



お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 情報・通信部門のサステナビリティサイト
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/sustainability/>

